

部局名	教育委員会	所属名	少年自然の家	所属長名	佐藤 雅英	電 話	488-6538
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3480		事務事業名称	少年自然の家維持管理事業					短縮コード	経常	3480	臨時	3481
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	少年自然の家運営費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市少年自然の家設置条例，八千代市少年自然の家管理規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和４５年より，文部省（現文部科学省）施策として，補助金の交付により，少年の健全育成のための社会教育施設として，昭和４９年に開所。快適で利用しやすい施設として運営するため、施設の修繕、清掃、警備、設備の保守等の各種業務を委託し、維持管理を行う。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
昭和４９年開所時期に比べ，市内全体の自然環境が減少しつつあり，自然環境に恵まれた少年自然の家で，小・中学生が自然探究や野外体験を集団で行うことにより情操や社会性を培うことは大切なことである。今後，健全な少年の育成には少年自然の家の必要性が高まってくる。このような状況下開所以来３４年経過する施設の老朽化に対応し，施設・設備の安全性確保と利便性の維持・向上を計画的に進めていくことが重要な課題になってくる。					大項目（節）	02	生涯学習						
					中 項 目	02	社会教育						
					小項目（施策）	02	社会教育施設の整備						
					細 項 目	02	その他の社会教育施設の整備						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		平成20年4月 ～ 平成21年3月		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	少年自然の家施設・設備の維持管理							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 少年自然の家施設・設備の維持管理							
	※平成21年度に計画していること： 少年自然の家施設・設備の維持管理							
意図 （何を狙っているのか）	少年自然の家の利用者に「安全・安心・快適」な施設環境を提供するために，適切な施設設備の保守点検と維持管理を行う。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年 度	2 0 年 度		2 1 年 度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	建物の面積	㎡	3, 490	3, 490	3, 490	3, 490	
	指標 2	借地の面積	坪	6, 819	6, 819	6, 819	6, 819	
	指標 3	市有地の面積	㎡	3, 905	3, 905	3, 905	3, 905	
活動指標	指標 1	修繕件数	件	11	4	7	6	
	指標 2	工事件数	件	0	1	1	0	
	指標 3							
成果指標	指標 1	利用者の満足度	%	100	100	100	100	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3480	事務事業名称	少年自然の家維持管理事業			所属名	少年自然の家
			単位	１９年度	２０年度		２１年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	22,379	20,459	25,932	21,785	
		その他	千円	248	248	230	202	
	主な事業費の内訳			修繕費、光熱費、借り上げ料など	修繕費、光熱費、借り上げ料など	修繕費、光熱費、借り上げ料など	修繕費、光熱費、借り上げ料など	
人件費(B)			千円	17,743.9	17,409.6	17,409.6	17,409.6	
トータルコスト(A)+(B)			千円	40,370.9	38,116.6	43,571.6	39,396.6	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		少年自然の家の施設・設備の維持管理及び整備の推進を計画的に行っている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		昭和４９年開所以来３５年が経過し、建物・施設・設備等が老朽化している。利用者に迷惑をかけないように適切かつ計画的に維持管理に努めているが、プラネタリウム投影機など部品の関係から保守点検が難しくなり機器更新の必要が生じている。また、屋上の防水機能の低下による漏水や老朽化により突発的な電気系統のトラブルが生じやすくなっている。さらにアスレチック場の遊具について老朽化のため危険防止のため一時閉鎖している。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		小・中学生や一般市民が利用する公共の施設として、少年の健全育成を目指す施設として、安全で利用しやすい施設の維持管理をしていくことは、行政の責任である。また、小・中学校のセカンドスクールとして、教育課程に基づく学習活動をする場としての少年自然の家を民営化することは元々なじまない。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		少年自然の家の利用者に「安全・安心・快適」な施設環境を提供するために、適切な施設設備の保守点検と維持管理を行う。				
			☐ 見直す必要がある						
			☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２、３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		少年自然の家の維持・管理は、日々適切に行っているのです。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		類似 事務 事業 名称	１	実施主体 （所管部署）		
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し			２	実施主体 （所管部署）		
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法						
			⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）			☐ ある			
	☐ ない								

コード	3480	事務事業名称	少年自然の家維持管理事業				所属名	少年自然の家
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			少年自然の家の維持・管理は適切に行っているので、このまま継続して行っていきたい。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			自然との触れ合いは、オリエンテーリングや野外活動することによって味わうことができた。また、プラネタリウムや天体観望等で宇宙に対しての興味関心を深めることもできた。毎月行われるプラネタリウムの一般公開では、星空の散歩が楽しかった。土星の輪が見えたなど驚きと感動の声を耳にすることもできた。しかし、プラネタリウムの機器の老朽化が進み、部品の調達も難しくなったり、修繕箇所も多くなり維持管理にかかる費用も増えている。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
・ 植物園等施設内の自然環境がよく整備されており季節の野草を楽しむことができる(学校・市民) ・ 館内の清掃が行き届いており施設が気持ちよく利用できる(学校・市民) ・ アスレチック場の遊具を新しく交換できないか(市民) ・ プラネタリウム投影機が古くなっているが機器更新の予定はあるか？学校の生徒や市民も楽しみにしているので適切な対応をしてほしい。(議員) ・ 施設設備の老朽化に対し計画的な修繕計画を進める。(議員) ・ 車椅子の児童への対応としてエレベータの設置予定はないのか（学校）	

所属長コメント	設置目的「自然の探究を行いつつ協力・規律・奉仕の精神を培い、豊かな人間関係を深めること。」について、市内小中学校のセカンドスクールとして適切な利用をすることによって、その目的を達成するとともに学校教育に大きく貢献することができた。また、一般市民に公開しているプラネタリウム、植物観察園も好評であり、市民の自然環境への興味関心を高めるために成果をあげている。今後、プラネタリウム機器更新、アスレチック遊具の交換、建物防水工事、耐震改修工事等、計画的に進める必要がある。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
☐ 廃止(事業完了含む)		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		